

博物館だより

発行

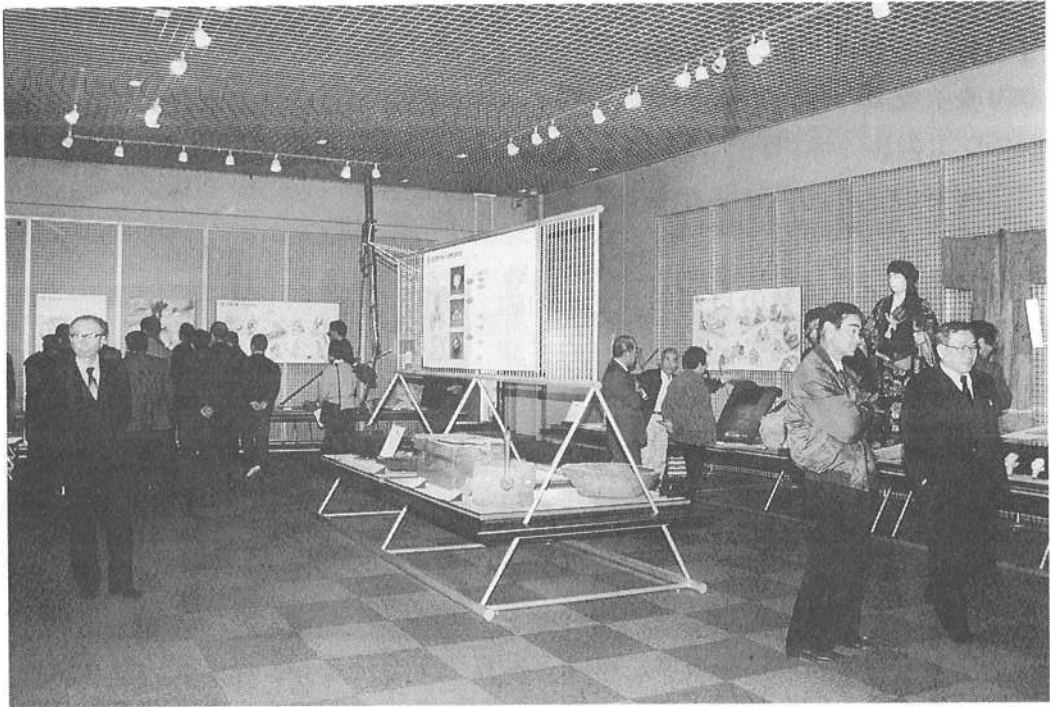
富士吉田市歴史民俗博物館

〒403

山梨県富士吉田市上吉田2288-1

☎ 0555-24-2411

平成6年3月1日



〈常設展観覧風景〉

富士吉田市歴史民俗博物館は昨年4月に開館し、はや1年が過ぎようとしております。この間、4回の企画展をはじめ、歴史散歩講座「富士道を歩く」や講演会などを開催し、多くの方々に観覧・参加していただきました。博物館は、富士吉田の歴史や民俗について展示を通して理解していただくことはもちろん、社会教育施設としての位置付けから、人々の学習の場としても活用されなければなりません。博物館は生涯教育の拠点として、今後もこの役割を十分果たせるようないろいろな企画を通して多方面から活動を行っていきたくと考えます。

平成6年度博物館事業として、企画展・博物館講座など、様々な事業を計画しておりますので、皆様の積極的な来観・参加をお待ちしております。

博物館常設展示のご案内

博物館の展示は、常設展示と企画展示の2つの展示で構成されています。

今回は常設展示の内容についてご紹介いたします。

常設展示では、まず富士吉田市の特徴を知っていただくために『富士山の信仰』と『郡内織物』の二つのテーマ展示を設けています。そして、原始・古代から現代までの富士吉田の歩みを紹介する『歴史』と、市域の人々の生活の様子を日常と祭りを交えて示す『民俗』を合わせて、四つの分野で構成しています。

富士山の信仰

－ 北口登山 －

当市には富士山の登山口があり、その起点となる上吉田は古くから信仰のために登山する人々が訪れ、たいへん賑っていました。このコーナーでは信仰登山者を迎える御師の資料を中心に、富士山の信仰について紹介しています。展示室へ入ると、まず上吉田のシンボルである金鳥居が目に入ります。それをくぐりぬけると御師の町並を復原したジオラマの前に出ます。御師とは自宅を宿坊として信仰登山者を受け入れ、自らは各地を廻って富士信仰を布教した人々のことです。ここでは御師の信仰用具・生活用具、また関東一円に広がる富士講の信仰資料・登山用具や山内で祀られている神仏、山頂の内院のジオラマ等を展示しています。



地域をささえた産業

－ 郡内織物 －



富士山の火山灰土や高冷地というきびしい環境の中で、農業を補う生産手段として織物の製造が発達しました。江戸時代初期に始まった絹織物は、小規模な農民の副業から次第に発達し、本業となって地域の産業として確立し、明治以降は技術革新により飛躍的に発展していきました。このコーナーではこの地方を代表する産業である織

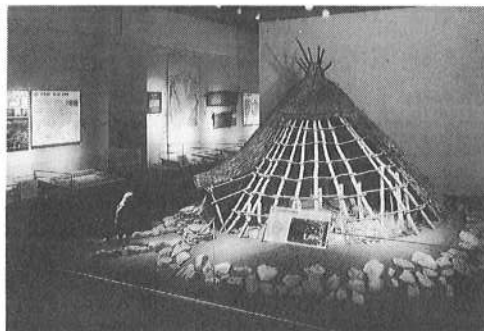
物産業の歴史について紹介しています。生産量や流通に関する資料、かいきの着物や羽織などの製品、戦前戦後の織物市の資料のほか、機屋の生活の側面を示すために、家族労働、家屋の変遷、機神信仰についての資料、さらに繭の糸取りから染色、織り上がるまでの生産用具を展示しています。

富士吉田の歩み

— 歴 史 —

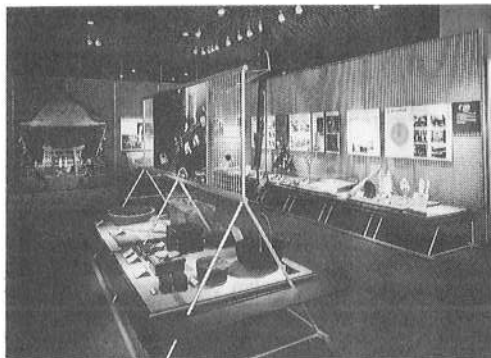
歴史のコーナーでは、まず地形的な地域の成立および富士山の形成を含めた自然環境と、この地域の風土の特徴を解説し、次に原始・古代から現代までの地域の長い歩みを富士山の火山活動とあわせて時代を追って展示しています。

「原始・古代」では土器・石器・復原住居などによって当時の暮らしを再現し、「中世」では、仏教と民衆の関わりや在地領主との支配関係について出土遺物や古文書によって説明しています。「近世」では、開発をテーマに新田開発村の特徴やしくみを絵図や古文書で、また灌漑用水掘抜である新倉掘抜の工事の様子を模型や映像で紹介しています。「近・現代」では文書と写真によって市制施行までの流れと発展の過程について展示しています。



日々のくらしと祭り

— 民 俗 —



私達の日々の生活は、労働を中心とした「ふだんの日」と、神仏を祭る「晴れの日」に大きく分けられます。「ふだんの日」は生業と食生活を中心に取り上げ、稲作以前の農耕として行なわれた高冷地の農業である水掛け麦栽培や、畑作物を主体とする食物の調理法について展示しています。「晴れの日」は信仰と行事を取り上げています。

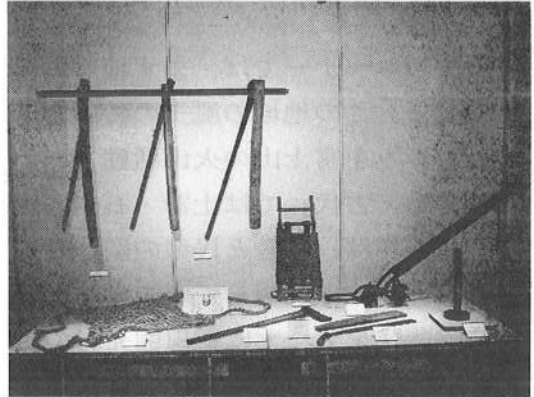
小正月行事はこの地方で行われる盛大な行事で、道祖神のお神木の写真や、この期間に集中して行われる豊作占いの道具を展示しています。そのほかに、富士山の山じまいの祭りである火祭りの神輿、秋の祭である流鏝馬神事的や矢、村祭りの際に行われる地芝居の衣装などを展示しています。

新収蔵資料展を開催!

〈平成6年2月1日～3月13日〉

博物館の収蔵資料は一部を常設展で展示しているほかは、収蔵庫で材質ごとに分類・保管しており、これらの資料は企画展など様々な機会を通して紹介しています。

今回の「新収蔵資料展」では、博物館が増改築及び展示改装を行っていた平成3・4年から平成5年までに寄贈を受けた資料を紹介しました。3年間で収蔵した資料は、51軒(家)から761点で、その中から御師浅間坊や、富士山禊所など富士山の信仰に関係した資料をはじめ、この地域で用いられた生活・生産用具など合計110点を展示しました。



おしせんげんぼう 御師浅間坊

浅間坊は上吉田で江戸時代から御師活動を行っていました。資料は常設展で展示している神殿をはじめとする御師関係資料が主で、信仰用具や宿泊のための受入用具など豊富な資料は、今後、御師浅間坊の活動内容を知る手がかりとなります。(平成3年12月26日 小佐野陽代氏寄贈)



(江戸丸不二講が奉納した行者像)

ふじさんみそぎじよ 富士山禊所

禊所は富士山吉田口登山道の馬返しでお祓い所をしていた施設で、オハライサンと呼ばれて親しまれました。資料は信仰のためのものが中心ですが、皿や椀などの調度品も多くあり、当時の禊所が休み茶屋も盛んに経営していたことがうかがえます。(平成3年6月1日 長田豊明氏寄贈)

博物館の資料は平成5年末で合計1万6千点(寄贈・購入資料等)に及んでおり、今日では入手が困難な資料が多く収蔵されています。関係各位のご理解ご協力に厚く感謝いたします。

平成6年度 博物館行事

平成6年度、博物館では様々な行事を企画しております。市民の皆様のご来館ご参加をお待ちしております。

企 画 展	博 物 館 講 座
<p>第1回 「富士吉田市収蔵美術品展」 4月15日(金)～6月15日(水) 富士吉田市が収集してきた富士を画題にした絵画を一般公開</p> <p>第2回 「吉田の御師」 7月1日(金)～8月31日(水) 富士信仰を支え、富士吉田市の歴史に大きな足跡を残した吉田御師の姿を通して富士信仰の一端を紹介</p> <p>第3回 「土器作品展」 9月10日(土)～9月30日(金) 8月に実施の「親子土器作り教室」において参加者が作成した土器を展示</p> <p>第4回 「あかりのある暮らし」 11月1日(火)～12月28日(水) 火の利用、特に「照明」としての火の利用について、電球使用以前のランプを使った時代までのあかりの歴史を展示</p> <p>第5回 「富士山写真展」 1月17日(火)～3月16日(日) 四季折々の富士山の姿をおさめた写真をとおして、富士吉田市の自然を紹介</p>	<p>●歴史散歩 「富士登山道に行く～女人天上～」 6月5日(日) かつて富士山が女人禁制の山であった頃、女性が登れる最高地点の「女人天上」まで、史跡を通してたどる。 ※受付は5/1より30名募集予定、詳細は広報5月号</p> <p>●体験学習 「親子土器作り教室」 8月7・14・21・28(日) 縄文土器を土作りから焼き上げまでをとおして縄文時代の手法で作る。※受付は7/1より親子2名1組・10組募集予定、詳細は広報7月号</p> <div data-bbox="738 1309 1226 1630" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>●ビデオ上映会 平成6年度より毎月第2土曜日、博物館講堂において歴史・民俗・自然などのビデオを上映いたします。なお、小・中・高校生は無料で入館できます。</p></div> <p>※詳しくは博物館学芸係までお問い合わせ下さい。</p>

お知らせ

●高浜年尾 句碑建立



『秋澄むと いふこと 富士の 姿にも』と詠んだ、高浜虚子の長男・高浜年尾の句碑が、「岳麓ホトトギス会」によって博物館エリア内のアプローチ道路わきに建立されました。

●博物館燻蒸

博物館では、貴重な資料を永年にわたって保管するために、1月17(月)～23日(日)までの期間、燻蒸作業を実施いたしました。

今後も資料の保存・管理に細心の注意を払っていきます。

●博物館屋外トイレを新設

博物館エリア内、アプローチ道路の入口に御師住宅を模した和風のトイレが新しくできます。

完成は3月末の予定で、市道沿いのトイレとともに利用することができます。

編集後記

～昨年4月博物館のオープンと時を同じくして採用された1年生です。早いもので博物館とともに2年生になりますが、これからも大きく成長するよう、日々の努力を重ねていきたいと思えます。(FU)

博物館利用のご案内

開館時間 午前9:30～午後5:00(入館は午後4:30まで)

休館日 月曜日(祝日を除く)・祝日の翌日(日曜・祝日を除く)
年末年始(12月28日～1月3日)

観覧料

大人	300円(240円)	()内は20名以上の団体料金
小中高生	150円(120円)	

※見学時間は1時間30分位が適当です。

※団体で来館される場合は予めご連絡下さい。

※毎月第2土曜日は小中高校生は無料です。

※市内に住む身障者(4級以上)は観覧料が半額になります。

※駐車場のご利用は午前9時～午後5時です。時間外の利用はご遠慮下さい。